

団体名 サラヤ株式会社

関連 SDGs (ゴールの番号)



エジプト砂漠の緑化

大阪大学大学院工学研究科 国際環境生物工学は、エジプトでホホバのクローンを利用し、優良な苗の増産へと導きました。株式会社シモンドは、エジプトのワディーナトルーンの砂漠にホホバのプランテーションを造成し、日本にホホバ油の利用を広げ、現地の雇用を創出しながら、砂漠の緑化を続けるために、2017年4月に設立されました。サラヤはこれに協同出資し、ホホバ油を利用した商品の日本での販売をはじめ、搾油工場をスエズに建設しているところです。ホホバは、アメリカのソノラ砂漠が原産で、乾燥に強く、塩分のある土壌でも生育できることが特長です。ホホバの種子からは、貴重なホホバ油が採れます。ホホバ油の成分は、その90%がワックスエステルです。ワックスエステルは、ヒトの皮脂に30%程含まれている成分で、肌の弾力維持に役立ちます。そのため肌馴染みが良く、微生物の増殖を抑制することから、抗菌効果も期待でき、このことから化粧品や医薬品への利用が考えられます。

サラヤでは、まず「ゴールドデン ホホバオイル」として、搾油時に熱を加えず、天然のビタミンDとEが豊富に含まれるホホバ油を販売しています。ホホバ油は、酸化しにくいことが特長で、安心してご利用いただけます。(Dec. 2018)

気候変動による砂漠化によって困窮している地域でもホホバ農業は可能です。そのためにも、まず日本をはじめとする先進国でのホホバの利用を進める必要があります。商品開発やマーケティングの良いアイデアがありましたら、ご教示下さい。



担当者連絡先

sustainability@saraya.com

URL : www.saraya.com/